

STOP 油流出事故

主な原因として人的要因または物的要因により発生します。
日常点検を実施するとともに適正な維持管理をしましょう。


人的要因

- 燃料コックの閉め忘れ
- ポリ容器に注油中誤って流出
- イタズラ（配管の切断・折り曲げ）
- ホームタンクへの過剰注油


物的要因

- 配管の破損・腐食
- ゴムホースの劣化・ひび割れ
- ストレーナーのひび割れ
- 水抜きバルブの緩み・劣化



石油類をはじめとする危険物は、事業所等において幅広く利用されるとともに、国民生活に深く浸透し、その安全確保の重要性は益々増大しています。このため、事業所における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、広く国民の危険物に対する意識の高揚と啓発を図ることを目的として、毎年6月の第2週（日曜から土曜までの1週間）に実施されています。

危険物安全週間 6月6日(日)～6月12日(土)

6月

雲仙普賢岳噴火（1991年6月3日）

1991年（平成3年）6月3日16時8分頃、長崎県の雲仙岳（普賢岳）で大規模な火砕流が発生し、43人が死亡・行方不明となった。前年の1990年（平成2年）から始まった噴火活動がこの年になって活発化し、5月には地獄跡火口に溶岩ドームが形成され、この溶岩ドームの崩落による火砕流が頻発していた。大規模な火砕流では、避難勧告区域内にいた消防団員や報道関係者、研究者らが多数犠牲となり、火山活動の情報提供に課題を残した。（ヤフー災害カレンダーから抜粋）

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 <small>雲仙普賢岳噴火（1991年）</small>	4	5
6 <small>危険物安全週間 （～12日まで）</small>	7	8	9	10	11	12 <small>宮城県沖地震（1978年）</small>
13	14 <small>岩手・宮城内陸地震（2008）</small>	15	16	17 <small>根室半島沖地震（1973年）</small>	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29 <small>十勝岳大噴火（1962年）</small>	30			

火事・救急・救助は119 石狩消防署

